

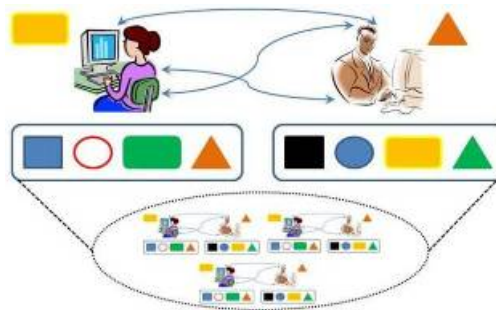
タイトル

## 多文化組織における信用形成の論理モデルに関する実験

An Experiment for a Logic Model of Trust Creation in Intercultural Organisations.

## 概要

このプロジェクトの目的は、異文化が共存する組織内において信頼性の構築・発展を可能にするために、大規模な実験を設計・実施することによって、信頼性の論理モデルを考案することである。我々の考えは、組織内で実施される協調的タスクの性質（組織内の文化的多様性やコミュニケーションに用いるインフラストラクチャ、実施期間）が、信頼性構築プロセスやタスク参加者の協調的な振る舞い、さらにはタスクの効率性に影響を与える、という仮説に基づいたものである。本実験は、コンピュータによって支援される様々なコラボレーション媒体を利用するワークグループのダイナミクスを再現できるように設計されている。我々は、グループ内およびグループ間のダイナミクスを変化させ、ワークグループの文化的多様性とグループに所属するメンバーの言語能力を考慮することにより、異文化が共存する組織（研究室環境を想定）における信頼性構築プロセスについて調査する。信頼性構築プロセスを分析するために我々が提案した信頼性の論理モデルは、本実験の結果に基づいて反復的に改善される。最終的に、本実験の結果は、異文化コミュニケーションやコンピュータを介した組織間システムにおける信頼性、信頼性・評判モデルなど、多様な研究分野において再利用可能なものになる。

URL [www.ai.soc.i.kyoto-u.ac.jp/~julien/gcoeh21/ict](http://www.ai.soc.i.kyoto-u.ac.jp/~julien/gcoeh21/ict)

## 産業界への展開例・適用分野

本実験の結果により、コンピュータによって支援される媒体を利用する多国籍ビジネス環境の改善を促進することができる。本実験によりもたらされるデータは、現在のサービス指向アーキテクチャ（SOA）などの組織間システムを改善するために利用することができる。また、論理モデルに基づいて実験結果を分析することにより、計算モデルに変形可能な形で信頼性構築プロセスを形式化することができる。

## 研究者

	氏名	専攻	研究室	役職（学年）
展示担当者	Julien Bourdon	社会情報学	石田・松原研究室	博士2年
	Ari Hautasaari	社会情報学	石田・松原研究室	博士1年